

興味ヲ喚起セヨ。

文責：演練幹事

最初の 10 秒で、聞き手を掴め。もし、掴み損なうと、後の 10 分かけても、挽回は難しい。

ーエルマー・ホイラー

序

魅力的な弁論とはどんな弁論だろうか。それは、聴衆に「聞きたい！」と思わせる弁論ではないだろうか。諸君もこの頃になると何度も弁論大会に参加し様々な弁論を聞いてきたと思うが、その中でも「この弁論面白いな！」という、先を聞きたくなるような弁論と、「つ、つまんねェ…」という、ともすれば眠たくなるような弁論があるのは皮膚感覚で分かると思う。どちらが好ましいかと言えば、それは勿論前者である。雄弁を志すのであれば、何よりもまず聴衆の興味を喚起しなければならない。

ではここで、演説家でもあるエルマー・ホイラーの言葉を見てみよう。これはあくまで比喻ではあるが、演説の冒頭で聴衆の興味を損なってしまうと、いくら分析がしっかりしていようが、いくら政策が優れていようが「入賞」することはあっても聴衆の心に響くことはきっと無いだろう。序文、つまり所謂「アジテーション」の部分が重要なのである。

壺 嚆矢

ここでは弁論の「最も初め」の部分、つまり語り出しの部分について説明しよう。エルマー・ホイラーによればここが一番重要なことから。聴衆から「期待するー！」と言われた後にやってくる得も言われぬ議場の静けさをどう打ち破るか。これは大切な点である。

その壺、^{インパクト}衝撃

例 1) **日本人は、いま絶滅の危機にあるーこれは、とある学者の言葉です。(「東一番の悪」緒方東吾、第 39 回大隈杯争奪雄弁大会)**

まず考えられるのは、インパクトを与えられるような強い台詞で印象付けることである。聴衆からしてみれば、まっさきに何か強い言葉を持って来られれば当然のごとく驚く。そして、「何が始まるんだ!？」と疑問を持つことになるため、続きを気にすることになる。

その弐 ^{セリフ} 科白

例 2) 「生きたい！！」そう願うアフリカの少年は、その棒切れのようにやせ細った腕や足を必死に動かしながら、虫を、小石を、土を、血走った眼で、口に運んでいたのです。(「スマート・ドナーへ」宇佐美皓子、第 55 回花井卓蔵杯争奪全日本雄弁大会)

次に、自分でも親友でも両親でも全くの赤の他人でも、台詞を持ってくるという方法がある。これはが良く採られる手法なのは、その壺と同じく聴衆の心に響きやすく、また強い台詞の場合印象に深く残るためである。そして勿論先の話が気になることになる。

その参 ^{ブリーフィング} 状況説明

例 3) 児童相談所内の一時保護所、午後 6 時、待ちに待った夕食の時間。私の隣に座った、保護されて間もない男の子は、食器をおいたまま、顔を異常なまでに近づけ、ご飯をかきこんでいました。その姿は食欲に駆られ、周りは全く見えていないようでした。食事が終わった後も、男の子は一度も顔をあげませんでした。(「無表情から笑顔へ」伊藤直哉、第 2 回福沢諭吉杯争奪全国学生弁論大会)

その壺、弐では「強い」出だしだったが、これは真逆で、あえて静かな口調で訥々と物語を始めることで聴衆にその先を想起させ、結末に興味を持たせている。このように、自分の体験やニュースで見た話など、人の説明でなく状況の説明から初めて個人の問題へと繋げていくことで物語を展開している。

弐 黙説

これは重要な部分を敢えて語らなかつたり、少し間を置いてみたり、よく分からないことを言って後で伏線を回収したり、聴衆に考える間を与えることで興味を持たせる手法である。

例 4) 私は、人を殺すかもしれません。あなたも、人を殺すかもしれません。「お前は死ぬべき人間だ」そうって、彼や、彼女の首を、絞めるのです。(「冤罪撲滅に向けて」高橋美有、第 23 回拓殖大学総長杯争奪全日本学生雄弁大会)

弁士はこの直後、飯塚事件と呼ばれる冤罪事件の説明を始めることになるのだが、その前にこの文章を入れることによって聴衆の興味を喚起している。聴衆側も、最初にこのような話をされれば、その時点では意味が分からないため、ある種の不気味さや違和感を持つことになるだろう。その負の感覚こそが、「何が言いたいんだろう？」という興味に繋がることになる。ただ誤解を生む可能性もあるため、弁論ではなかなか使用例は少ない。

参 激情

これは壺とも被る部分が多いが、喜怒哀楽正負の感情に関わらず、一つの感情とそれにまつわる話を冒頭でする、という手法である。最もポピュラーな手法だと言えるだろう。

例5) 「まあそう気にするな、お前なら大丈夫や」。これが父の口癖でした。思うようにいかず、落ち込んでいるとき。何度もその言葉に救われました。「何があっても、俺だけはお前を信じ、守ってやる。」父の背中はその語っていました。「あんまり無理しすぎんといてね」。これは母の言葉です。どうしようもなく悩んでいるとき。この言葉が優しく頭を撫でてくれました。「頑張るのもいいけど、体は壊さんようにね。」そうって母は、いつも私を気にかけてくれました。私の両親は、私にたっぷりと愛情を注ぎ、育ててくれました。(「愛」野村宇宙、第24回拓殖大学総長杯争奪全日本学生雄弁大会)

これは嬉しさや安心感、幸福など正の感情を描写している様子である。ここから「しかし一方社会には、」と、社会事象について訴えていく訳ではあるが、目の前で一人の人間が自分の人生について語り出すので、興味を持ってもらいやすい。

例6) 「実は私、精神科に通っているの」(中略)ある女性は、悩みぬいたうえで決心し、恋人に自分が精神疾患であることを伝えました。それに対して彼は優しく答えました。「辛いことを打ち明けてくれてありがとう。僕でよければいつでも頼ってね」しかしその数日後、彼女は彼から突然別れを切り出されてしまいました。彼の両親が二人の付き合いに反対してきたのです。「心の病氣にかかるなんて、弱い人間に違いない。そんな奴と付き合うのはやめろ！」愛する人に自分の病氣も含めて認めてもらえると信じていた彼女。絶望に打ちひしがれ、次第に人との関わりを絶つようになってしまいました。(「世界が優しくなるために」宇治舞夏、第6回全日本学生弁論大会)

例5よりもはるかにこちらの方がメジャーな手法だろう。自分や知り合い、赤の他人でも、一人の人間の暗い過去や辛い経験などを物語調で訴える。世の大半の人が趣味で小説を読むことを考えればこの手法は見当はずれである訳もなく、一番容易に相手の興味を惹ける手法であることには間違いが無い。

四 一体化

これは聴衆に語りかけ、考えさせ、聴衆に関係のある話をする事で聴衆を「巻き込む」ような演説をする方法である。聴衆を「巻き込」み、自らの説得活動に「参加」させることで、ただ聞く訳では無い、聴衆の立場をもう一つ上にまで上げ、一体化することができる。

その壺 アポストロフィ 語りかけ

例7) **両隣をみてください。現在、自分とその両隣にいる二人の三人がおよそ一人の老人を支えています。しかし、40年後、我々が定年を迎える頃には、なんとこの三人を、将来生まれてくるだろう可哀そうな若者はたった二人で支えなければならないのです！**（「ゆりかごから墓場まで」井守健太郎、第61回早慶新人雄弁大会）

このように語りかけたり、「想像してみてください」と問いかけたりすることで聴衆を「参加」させることができる。つまり、聴衆に考えさせる過程を踏むことで聴衆の興味を喚起することができるのである。

その式 クロスリンク 橋渡し

例8) **今、国会では解散風が吹き荒れています。来月にも、衆院選挙が行われることでしょう。さて、ここで皆さんに質問です。皆さんは、選挙に行く権利がありますか？その権利を、行使しようと思いますか？最近の投票率を見れば、この議場の、こちらからこちら側までの、約4割の人々が、選挙に参加しないことになります。**（「私たちの声が届くとき」保浦誠也、第54回花井卓蔵杯争奪全日本学生雄弁大会）

例9) **目の前に、分かれ道があることを想像してみてください。あなたは両方の道を進みたい。しかし、それは許されない。「甘いものを食べたいけど、太りたくない」。「眠いけど授業がある」。「恋愛をとるか、友情を取るか」。「就職しようか院に進もうか」。二律背反、どちらかを選択せねばならない。どちらも探りたいのに、片方しかとることが出来ない。それは辛く、苦しい選択だと思えます。現在、そんな重大な選択を迫られている人々が大勢います。「仕事」と「子ども」、どちらかを選択しなければならない。そう、女性の話です。**（「そして、未来へ。」緒方東吾、平成27年度春秋杯争奪全国学生雄弁大会）

例8も例9も、ともに聴衆に関係のある、または関係のありそうな話題から自分の問題意識に橋渡しをしている。例8は比較的現実的で、問題意識とも直結した話題から本題に話を持って行っているのに対し、例9はあくまで全く違う話だが「二律背反の苦しみ」という共通項を用いて女性の社会進出という話につなげている。直結した話を使おうが全く関係は無いが共通点のある話を使おうが、「聴衆に関係のある話をして興味を持たせてから

自分の主張に持っていく」という点では効果は同じである。

五 仰天

これも聴衆に興味を持ってもらう上で最も重要な手法の一つである。これは、意外と知られていない情報を提供したり、聴衆が当然だと思っている「常識」を覆したりすることで、聴衆に「そうだったのか!」と驚嘆させたり「なるほど!」と納得させたりする手法である。

例 1 0) 皆さんの中には「沖縄の人はみんな、基地に反対なんだろう」と思う方もいるのかもしれませんが。しかし実際には違います。沖縄地元メディアの世論調査によると、基地の反対と賛成の割合は半々となっています。マスコミで取りあげられるような、多くの沖縄県民が基地に反対している、沖縄は基地に出て行って欲しいという訳ではありません。(「平和の琉歌」城間正人、第 35 回東京大学総長杯争奪全国学生弁論大会)

例 1 1) それではここで、これまでの支援の成果を、絶対的貧困率という指標から見てみましょう。これは、1 日 1.25 ドル以下で暮らしている人々の割合を指すもので、人間が生命を維持できるかどうかの境界線だと言われています。では、日本を始めとする世界の支援のおかげで、アフリカの絶対的貧困率はどれくらい減少したと思いますか? これだけの投資をしてきたのだから、きっと何割もの人々の生活が豊かになったのだと、思われるかもしれません。しかし実際には、なんと、3%しか変わっていないのです。さらに、アフリカでは人口爆発が起きているため、貧困率は 3%減っていても、貧困人口は 2.5 億人も増加しているのです。(「スマート・ドナーへ」宇佐美皓子、第 55 回花井卓蔵杯争奪全日本雄弁大会)

これはかなり内容に関わる話ではあるが、その分効果はてきめんで、自分の知らない情報を提示されたり自分の思い込みを覆されたりした聴衆はその主張を面白いと感じる。なぜならそれは自分にとって大きな発見になるとともにちょっとした感動すら覚えるからだ。思い込みや社会的に流布している情報を覆すのは難しいが、それが成功すればその主張は優れたものになる。

六 破顔

これもよくある手法で、最近では弁論界でもしばしば見る方法だが、掴みで聴衆を笑わせ、場の空気を和ませたり自分の主張を聞き入れてもらう土壌を作ったりするものである。

例 1 2) 1 年生の皆さん、色々言ってくる先輩のことをこう思ったことはありませんか? そう、老害。(「Help!」杉田純、第 39 回大隈杯争奪雄弁大会第一回定例演練)

例 1 3) 私が、電車に乗っていた時の話です。座っていた席の両隣は、なんと、女子高生でし

た。このような奇跡は、滅多にあるものではありません。しかし、およそ 40 年後。隣には、かならずおばあちゃんが座っていることになるのです。そして、その 30 年後には、右にはおばあちゃん、左にはおばちゃん、という状態になっているのです！（「斜陽」緒方東吾、第 38 回大隈杯争奪雄弁大会）

これには笑いのセンスと少しばかりの勇氣、それに滑るリスクを背負う必要があるが、初めに笑いを取れた後の弁論の運びはスムーズなものになる可能性が高い。聴衆が「面白い」と思えばそれから先も興味を持って弁論を聞いてくれるだろうし、なにより議場が盛り上がることになるだろう。

七 可視化

百聞は一見に如かず。人間というものは得る情報のほとんどを眼に頼っている。聴衆にとって最も大きな情報源は視覚なのである。つまり、視覚に訴えることでより興味を持たせ、多彩な説得を行うことができる。現在でも身振り手振りといったボディ・ランゲージは使用されており、有効に使っている弁士はやはり見栄えが良く眼を惹くものがある。しかし、視覚に訴える説得はまだ可能性が広げられると思う。例えば先日の第 39 回大隈杯争奪雄弁大会では壇上に粘土を持っていき宇宙の形の変動を表現した弁士もいた。大隈杯ではパワーポイントの使用も認められているし、「声」だけの説得に留まっている必要はない。言葉で児童虐待の進捗状況を説明するよりもグラフで合計特殊出生率の推移を見せた方が分かりやすいだろうし、精神疾患の病名を並べ立てるより表で見せた方が早い。アフリカの貧困をいかに訴えようとも、動画を見せられた方が聴衆の心に響くだろう。弁論の形は何も言葉だけである必然性は無い。新しい形に挑戦するのもいいだろう。

八 結び

弁論。これは他人に話を聞いてもらわなければ意味をなさない。どれだけ理念を練磨しようが、どれだけ社会事象を研究しようが、自分の言葉が、自分の思いが伝わらなければ意味が無い。社会変革について考えてみよう。社会を変革するには、なるべく大勢の他者を説得し、自らの社会変革論に巻き込まなければならない。

ではここで、君たちが訴えてきた社会変革論はどのようなかたちで行われてきただろうか。それはあくまで「弁論大会」という、あくまで聴衆が「聞く前提にある」場での説得活動だっただろう。しかし、大会の会場を出れば、社会に出ればそんな都合の良い前提は無くなる。自らの意見を広く訴えるなら、説得対象に「聞かせる」ことが必要になるのである。

第一回でも書いたが、常に説得対象の立場に立つことを忘れず、説得対象の興味を惹く、そんな言説の発信を心がけてほしい。

以上